

「食と農パネルディスカッション」を開催

＝生産と消費をつなぐ＝

パネルディスカッションテーマ

ファーマーズマーケットを通して あらためて、食と農のつながりを考える

日時 2018年7月27日（金）14:00～16:30

会場 全労済金山会館ワークライフプラザれある6階大会議室

<パネリスト>

▶浅田 昌司 氏 JA あぐりタウンげんきの郷（株）げんきの郷 元支配人

▶吉野 隆子 氏 オーガニックファーマーズ朝市村 村長

▶岩森 政明 氏 ベルファーム農家市場（株）松阪協働ファーム 代表取締役社長

<特別参加>

▶山口 清隆 氏 JA あぐりタウンげんきの郷（株）げんきの郷 元代表取締役社長

<コーディネーター>

▶大原 興太郎 氏 三重大学名誉教授・地域と協同の研究センター理事

今回のパネリストは、JA が経営主体となって運営する日本最大規模のファーマーズマーケットの「げんきの郷」。オアシス 21 という、大都市の真ん中でオーガニックに拘り、新規就農者を育てることを大切にしたい「オーガニックファーマーズ朝市」。官から民へ、行政ではできなかったことに挑戦して地域の課題を協働で解決したいと進めてきた「ベルファーム農家市場」。夫々に特色を持った日本のトップランナーのファーマーズマーケットの代表に報告頂き、ディスカッションを行いました。



オープン参加で募集し 43 名の参加。生産者、生協の組合員、JA の関係者、大学教授、生命保険会社、レストランの経営者、4 生協の役職員、行政、製造業の技術者と、とても多彩な皆さんに参加して頂くことができました。

パネリスト報告に続いて、大原興太郎氏（三重大学名誉教授・地域と協同の研究センター理事）のコーディネイトでディスカッションで深め合いました。

詳しくは研究センターNEWS168号（18年8月号）で報告します。

以上